

北辰会報

第21号

発行者 大阪府立北野高等学校
 定時制課程同窓会北辰会
 会 長 古 城 具 祐
 編集者 事務局長 前 田 直 人
 事務局 〒666-0262
 兵庫県川辺郡猪名川町伏見台1-2-97
 TEL・FAX 072-766-4170
 kitanokoukou-hokusinkai@gaia.eonet.ne.jp
 印 刷 タブレット
 TEL 06-6676-2520 FAX 06-6676-2519
 DTP 株式会社グラフィカ
 デザイン TEL 06-6765-1210 FAX 06-6765-1211

「ご出席頂きまして有難うございました!!」

…強い絆で結ばれた素晴らしい仲間たち…

2014年 北辰会総会・懇親会

こじょう ともすけ
 北辰会会長 古城 具祐 (18期)

平素は北辰会にご支援を頂きまして有難く心より御礼申し上げます。昨年度は北辰会総会・懇親会に多数ご出席頂きまして誠に有難うございました。母校の先生方、足立元校長先生はじめ恩師の先生方にもご臨席を賜り厚く御礼申し上げます。母校北野高校には平素より多大なるご支援を頂いております。御礼申し上げます。

皆様方には平素は北辰会の為にご支援を賜り有難く感謝申し上げます。

北辰会としましては、今回21号となりました北辰会報の発行や、北辰会DVD「燦然と輝く希望の星」の発刊と「北辰会ホームページ」の立上げ、そして2010年には3冊目の文集となりました閉課程記念文集「はるけき流れ」には1期生から67期生までの文が寄せられております。「北辰会ホームページ」には北辰会の懐かしい仲間達の近況や写真、北辰会活動等がリアルに掲載されていますので是非アクセスしてみてください。又、投稿もお待ち致しております。

幹事会や事務局を中心に元気に活動を続けております。又、同期会やクラス会はもとより各種同好会の活動報告も届いており、青春を共に過ごした仲間達と強い絆で結ばれています。

私達を取り巻く社会は厳しさを増しつつあります。高齢化問題や消費増税等がありますが、私達には色々な困難を乗り越えてきた経験があります。少しさかのぼりますが2000年発行の文集「ゆうべの星」で当時の学校長、秋田先生が刊行に寄せて頂いた一文に『現代の豊かな日本は、貧しい時代以上に何か得体の知れない時代になっている』とあります。豊かさや格差がもたらす弊害に悪戦苦闘しているのが現代ではないかと思われれます。しかし、北辰会の数々の出版物には逆境をバネに真摯に生きてきた会員の皆様の生きざまが綴られております。

北辰会は常に皆様の青春の故郷でございます。素晴らしい仲間達の元気の源であり、安らぎの場である様に願っております。最後になりましたが会員の皆様のご健康とご多幸をお祈り致しまして、ご挨拶とさせていただきます。

(今号の挨拶文は昨年、北辰会総会での会長挨拶を要約し会員皆様へぜひお読み頂きたいとの思いで掲載させて頂きました。)



総会時の古城会長(左)、松尾副会長(右)

目 次

南部先生出版会、直嶋議員より	2
皆様からのたより	3
この人あり	6
岩野(9期)、前田(13期)、山本(22期)	
同期会、同好会だより	11
事務局からの報告	15
北辰会総会・賛助金運動のお礼	18
賛助金のご芳名	19

南部先生の「絆と縁の漣」出版祝賀会の開催

19期 ^{みずたに}水谷 ^{まさはる}正治

平成26年4月26日（土）に南部先生の「絆と縁の漣」出版記念祝賀会を大阪のシンボル大阪城を真正面に眺めながらKKR大阪（国家公務員共済会館）で実施しました。

当日は17名の参加で、初めに発起人を代表して北辰会19期生の幹事の山本氏から南部先生に対し出版のお祝いと本誌を全員が頂戴したお礼等を述べ引き続き、南部先生のご挨拶をいただき、乾杯後祝宴に入りました。



祝賀会での南部先生(中央)と水谷さん(前列右端)

祝宴会では「絆と縁の漣」にも掲載されています19期生の定時制時代の話や各人の近況を語る。



南部先生「絆と縁の漣」表紙

また、圧巻は私たちが学生時代等に南部先生に出した手紙や年賀状を当日、先生が持参されましたので各人がその手紙等を披露するなど祝賀会は最高に盛り上がり、あっという間の3時間で皆さん、満足の様子でした。次回同窓会の幹事も決め、今秋（11月頃）の再会を誓い、会場を後にしました。

なお、当日は南部先生から昨年12月に出版された「過度生死」の本と以前に出版されています「赤さび色の空を見た」の本のDVD（再調整のもの）を出席者全員がいただきました。

北辰会は何時まで元気で

26期 ^{なおしま}直嶋 ^{まさゆき}正行(参議院議員)

私の母校同窓会、北辰会が今も活発に活動されていること嬉しく思っています。昨年の同窓会総会には急な政務が入り皆様と懇談できず残念でした。東京北辰会の会合には許す限り参加し、楽しく先輩諸氏と懇談させて頂いています。

昨年はもう一つの母校、神戸大学で客員教授として「『次の日本。』政治の責任と政策」と題した講義を学生に行いました（今後も数回予定しています）。新鮮なエネルギーを頂きました。若い方の積極的な政治参加の一助になればとの思いです。

今年はモノづくり基盤を確立して産業を活性化させ、雇用を創出するとともに、少子高齢化に対応して子育て支援・教育の充実・社会保障制度の安定にも尽力する所存です。

北辰会の皆様のご健康をお祈り申し上げると共に又、元気で出会い出来ること楽しみにしております。

*事務局 直嶋議員からお忙しい中、事務局に挨拶文が届きました。また、議員には北辰会の行事等にご参加頂いています。ご健康で政務に努められ北辰会会員と楽しく歓談出来ることを願っております。



2014年11月 神戸大学にて

皆様からのたより

17歳当時が直ぐ 思い出されました

7期 はらだ 原田 のりお 則夫

今、86歳です。

会報20号読み、得本さんと剣道大会へ出場したこと、終戦直後で混乱していたので復学したが大学へ行け無かった。しかし、良かったなあ。池田市に住んでいましたよ。

17歳当時が直ぐに思い出された。有難うございました。

今は鳥取県です。体調不良で車いす生活なので昨年、会社を閉じました。元気で頑張りました。

2014.4.4 事務局へ電話

北斗7星をあしらった 装飾品を頂きました

9期 いわの 岩野 ひさお 壽雄

私は9期生、岩野寿雄です。現在、83歳で裁判官、弁護士の仕事も昨年閉じました。

大学、高校の会報を色々みていますが北辰会報は立派な会報だと思います。

私は高津中学を卒業して、大学入試のため北野高校定時制4年に編入しましたが、1学期の試験を受けなかったので卒業は出来ず、退学の処置を受けるような状況になりました。しかし、大野先生の計らいで聴講生扱いにして頂き入試に必要な授業を受けながら、自分の受験勉強を1年間出来ました。

受験も合格しました。再度申し上げますが北野高校定時制は1年間の縁でありましたが1番思いがあり、貴重で大事な時でした。将来の道に大きな影響を与え



て頂きました

裁判所勤務で裁判官を知り、名古屋大学へ進学し最後は裁判官になり、退官後弁護士になりました。

7期生の得本さん(弁護士)にはお世話になりました。

北辰会には今後協力させていただきます。北辰会発行の書物をお願い致します。

合わせて大野先生のお消息分かれば教えて頂けないでしょうか。

2014年4月4日

*事務局より 岩野さまより別項写真のようなダイヤモンドをあしらった装飾品を北辰会へ頂きました。北辰会の象徴である北極星と北斗七星をダイヤモンドであしらった品です。私達の青春の故郷である北辰会と共に末永く輝いてくれる事でしょう。心より感謝申し上げます。

しみじみ母校こそ わが心のふるさと

9期 もりの 盛野 たねひろ 胤弘

北辰会DVD「燦然と輝く希望の星」拝受いたしました。

御礼状が、すっかり遅くなってしまいました。なんとも申し訳ありません。

早速、拝見させて頂きました。

なにしろ、私ども9期生は昭和20年(1945年)4月入学そして8月15日には敗戦という悲惨な時代に在学していましたので、資料が少ないのは仕方ないことですが、それにも拘わらず次から次へと思い出が蘇ってくるのです。

しみじみ母校こそわが心のふるさとという想いに駆られるのでした。本当に有難うございました。

*事務局 三重県四日市に在住されています。

母も楽しみにしていた 北辰会報

10期生御遺族 いけがみ 池上 たつ 達

拝啓

私は北辰会10期 池上 隆の二男 池上 達

と申します。

実は、2013年5月吉日に発送されましたはがきが届いていたのですが、他の書類などに紛れていまして、つい先日 はがきが届いている事を知り、今日このメールをさせていただくことになりました。遅ればせながら、父 池上 隆は平成3年11月24日に他界しております。

今年で23年目になります。平成3年11月3日職場で突然倒れました。脳卒中でございました。3回の緊急手術を行いましたが、効果なく、3週間で天寿を全ういたしました。59歳でございました。

母親＝隆の妻 池上正美と同居しているのですが、郵便物などは母親が管理をしておりました。数年前から体の具合が悪くなく、母親も80歳を超え、衰えは隠せません。私も会報が届いているのは存知あげていましたが、亡くなっても家族に届くものだと思っておりました。母親も楽しみにしていました。今回の連絡で、会報が届かなくなる事はさみしく思いますが。いたしかたありません。

父 池上 隆は当時の北野高校を誇りに思い、私たち子供は苦労した当時の話もよく聞かされました。そんな父の話に誇りを感じていました。

会報には北辰会の皆様の北野高校に対する思いがひしひしと伝わってまいります。父も元気であれば、懇親会に参加し昔話に花を咲かせたことでしょう。

最後になりましたが、北辰会の今後の益々のご発展と、会長様をはじめ、会員の皆様のご健康とご多幸とますますのご活躍をお祈りいたします。

草々

涙ながら「北辰会DVD」を見ました。

おかざき み え こ
15期 岡崎 美恵子

いつもお世話様でございます。
流れる校歌になつかしさと胸一杯になり気がつ

けば、涙しながらDVDに見入っていました。

よくぞ素晴らしいDVDをお作り下さいました。企画制作にかかわって下さった皆様のご苦勞に御礼申しあげます共に感謝申し上げます。後生大事に楽しみたいと思います。

ありがとうございました。

賛助金運動に寄せられた皆様からのコメント

＊事務局 今回の賛助金運動では資金はもとより心温まる励まし、お元気で活躍の近況報告のコメントを多数頂きました。全てご紹介したい思いですがやむを得ず割愛させて頂きました。北辰会は会員の皆様と一緒に生きていると実感致しました。元気を頂きました。ありがとうございます。

教師 吉安 克彦

満85歳になりましたが、歳相応に生活しています。在職の昭和26年から30年の北野高校時代を今も時折懐かしく回顧しています。(何時も賛助金を頂いています。今は、ご子息の病院で事務をされています。)

教師 水原 渭江

篤志家の出資により《水原渭江国際學藝記念館》建設準備中で、明年の夏季に完成予定です。

教師 川口 一夫

農業の真似事をしながら年金組合、9条の会、平和委員会の仕事を手伝っています。

3期 河地 淑

小生間もなく92歳になります。体力、気力も衰えが目立ちます。総会出席は無理です。会長さん始めお世話になり感謝しています。賛助金少額ですがお許してください。

4期 田村 政春

91歳足腰弱くなりましたが何とかテレビを見ながら暮しています。

7期 須田 幸二郎

今年の5月21日満90歳。総会の日には90歳で

参加出来ます。年齢相応の日々を生きています。

9期 鎬木栄一郎

何時もご親切にご連絡頂き恐縮です。歳を重ね余り無理の出来ない身体になりました。総会は欠席させて頂きます。皆様方の益々のご活躍をお祈り申し上げます。

10期 織田 忠明 (奥様)

忠明、昨年10月24日に亡くなりました。長い間のご交友を感謝致します。少しですが最後の賛助金を振込みます。平成16年の写真を大事に持っていました

11期 新保 誠敏

ソフトボール協会の各種役員のほか、今年は吹田市青山台A住宅自治会の会長をすることになり、忙しい年になりそうです。

14期 美馬 綾子

元気です。4月4日～9日までオーストラリアへ行って来ました。メルボルンとシドニーだけですが出来る限り海外旅行を楽しみたいと思っています。

14期 五熊 久子

昨年10月主人を亡くし、半年、やっと少し落ち着いて参りました。

17期 足立 達男

会報20号見事に丁寧に仕上げられていてありがとうございます。レベルの高い出来ばえに感謝申し上げます。70歳より地域自治会の端役で公園花壇維持管理に努めています。

19期 梶原 清

相変わらず仕事を追っかけ、バイクで桜の追っかけしている有様です。昭和29年より仕事をしているのだから、もういいかなとは思いますが。これしか能がない！まあ良いか！楽しいのだから！

24期 又川 邦義

「未だ」と云うか「もう」と云うか後2年で卒

寿を迎えます！見るべきものはみつ、識るべきものは・・・これは未だ勉強中にて、しかし、人間はどうしてこう同じ間違いを繰り返そうとするか！嗚呼・・・！！

25期 横谷 良勝

相変わらず、陸上競技にその大会役員そして、仕事とまだまだ現役で頑張っています。会員皆様のご健勝ご多幸を祈っています。

26期 吉永 光輝

67歳に成りましたがお陰様で第3の職場で頑張っています。出席出来ず申し訳ございません。役員の方々は大変だと思いますが、ご盛会を鹿児島よりお祈り致しています。

27期 上村 廣子

今年1月15日で13年間務めた病院を退職、息子も結婚し夫と二人暮らし。夫も古希の祝いを子供たちがしてくれました。新しい事に又チャレンジ！

29期 川端 康巳

67歳になり、今は会社の嘱託として現役時代のハイブリッド技術を使いプリウス等の廃車のユニットをリユースする製品を開発しています。

33期 紀川真知子

この度の総会に33期からも何人か参加を呼びかけようと思っています。今年、還暦を迎える仲間が多いと思い節目になればと思います。

43期 竹之内キクエ

足を昨年手術しました。やっと元気になりました。久しぶりに先生、皆様にお会いする日を楽しみにしています。

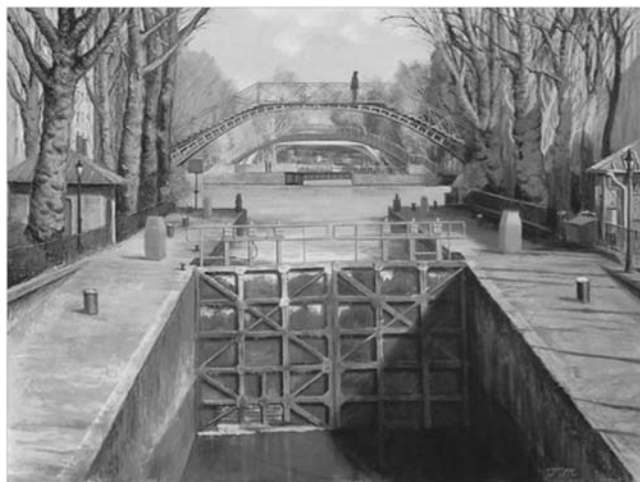
銀座の竹川画廊にて
作品展を開催しました

ますの たかし
14期 増野 喬

日頃から油絵を楽しんでおり、2006年には銀



座の竹川画廊で作品展を開催しました。現在は新日本美術協会の委員をしています。この絵は“忍野村秋景”を描いたもので、会長賞を戴きました。



パリ市内の「サンマルタン運河」を描いたものです（油絵・F100）。第36回 新日美展にて“佳作”を戴きました。

*事務局 北辰会HPには、この絵画をきれいなカラーで掲載させていただいています。ぜひHPをご覧ください。

この人あり

私の北野高校定時制

～懸命に働き、
学び支えられた青春時代～

9期 いわの ひさお
岩野 壽雄



生野中学卒業後高津高校定時制4年生、裁判所雇員へ

私の旧制中学5年当時、学制改革があり、私は旧制府立生野中学を卒業した。同期生の多くは、男女共学となった新制生野高校に進学したが、優秀な生徒は旧制高校、専門学校、大学予科に進学し、事情がある者は、他の府立高校定時制に、転入試験を受け、転入している。この場合、その試験の成績により、4年生と3年生に区分された。定時制高校は4年制である。私は幸い4年生に転入している。

私の場合、事情とは、私自身が働いて、学費や生活費を家計に入れなければならなかったこと。だから、旧中卒の資格で大阪貯金支局の試験を受け、合格し、事務員として採用された。新制生野高校には定時制はなかった。そこで、府立高津高校定時制に転入した。

そして、1年勤務。居心地は悪くはなかったけれど、若い女性の多い単純な仕事。将来性はせいぜい郵政事務官。よくいって課長どまり。そのため、誰にも相談せず転職した。転職先は大阪地方裁判所雇員。

私はかねがね中之島から見える対岸に聳えている大阪高裁・地裁の赤煉瓦造りの重厚な建物に憧れており、あのような建物の中で働くことができれば…と願っていた。その頃たまたま新聞広告で、大阪地裁が雇員を募集しており、資格も旧中卒でよかったので、受験して合格し、地裁事務局総務課に配置された。雇員というのは事務職の最低職、裁判所事務官を補助する仕事だった。

私はかねがね中之島から見える対岸に聳えている大阪高裁・地裁の赤煉瓦造りの重厚な建物に憧れており、あのような建物の中で働くことができれば…と願っていた。その頃たまたま新聞広告で、大阪地裁が雇員を募集しており、資格も旧中卒でよかったので、受験して合格し、地裁事務局総務課に配置された。雇員というのは事務職の最低職、裁判所事務官を補助する仕事だった。

大学進学は念頭になかった。学費の工面などできる筈がない。また、この職場の雰囲気はとてもよく、職務の内容にも満足していた。ただ、総務課には時折別棟の裁判官室においで裁判官から電話が入る。それには事務局長や総務課長が対応する。私にとっては雲の上の人である局長や課長が丁寧に対応され、多くは自ら裁判

裁判所生活から裁判官への夢

大学進学は念頭になかった。学費の工面などできる筈がない。また、この職場の雰囲気はとてもよく、職務の内容にも満足していた。ただ、総務課には時折別棟の裁判官室においで裁判官から電話が入る。それには事務局長や総務課長が対応する。私にとっては雲の上の人である局長や課長が丁寧に対応され、多くは自ら裁判

官室に出向かれる。裁判官が事務局においてになることなどなかった。私は、所長以外の裁判官のお顔を見たことも、裁判官室に入ったこともなかった。所長もお言葉を掛けて下さることはなかった。

裁判官はどんなお顔をしておいでだろう？その疑問が、「よし、裁判官になってやろう。」と変わるまで、それほどの日数は掛からなかった。でも、先ず大学の法学部で履修して、日本でも最高に難しいという司法試験に合格しなければならない。どうしたらよいのか解らない。その頃家族は、大阪では生活できないため、父の在所である名古屋に帰農する準備をしていた。

大学を目指し北野高校定時制へ

ともかく翌年は名古屋大学法学部の入試を受けてみよう。でも、高津高校は既に卒業している。塾などまだごく少なく、その月謝も払えない。独学？やはり不安。思い切って、生野高校から旧制生野中学の卒業証明書を戴き、その資格で新制北野高校定時制4年の編入試験を受験し合格した。私の生活は、昼間は大阪地裁雇員として働き、夜間は北野高校に通学することとなった。幸い裁判所の仕事には残業はないし、裁判所から北野高校は比較的近い。

北野高校定時制での入試勉強、大野先生への感謝

私は既に高津高校を卒業しており、北野高校まで卒業する必要はない。だから、1学期の中間試験を欠席してしまった。今から思うと、なんと自分勝手なことをしたのだろう。担任の大野義夫先生がその夜私の下宿先を訪ねて来られた。この一事で先生が私の試験放棄につき、どんなに心配されたかがよく解った。私は、先生のお顔さえ正視できず、ただ畏まって、全てを打ち明けた。私は北野高校を欺いたことになる。慚愧の念で一杯になった。先生は、「そういうことだったのか」とお叱りもなくお帰りになった。ところが、この私に北野高校は大きな恩恵を示された。「身分を聴講生とする。今後來たい時だけ出席して授業を受けたらよい。当然卒業にはならないが」。とても嬉しかった。大野先生の大きなご尽力があった故と思う。大野先生は既に故人となられたと聞いている。でも、その面影

は私の脳裏に焼き付いている。その後は大学受験科目に限定して授業を受けることができた。退学処分を受けても仕方がないのに。しかも、大学受験科目についてはちゃんとテストも受ける。私としては模試のつもりで。卒業式は遠慮している。その後同期会は1回出席しているが、気配に授業に出ていた私には当然友人はない。

名古屋大学と名古屋地裁へ

翌年3月、名古屋大学受験。勿論裁判官になることが目的だから法学部法律学科。失敗してももともとという気持ちだった。ところが、思いがけず合格した。北野高校での1年は決して無駄にはならなかった。むしろ、そのお蔭で合格できた。初めから進学は考えていなかったけれど、俄然進学したくなった。でもここは大阪、家族は既に名古屋に移転している。

私は、大阪地裁の上司に打ち明けて相談した。大阪・名古屋の地裁人事・総務課長が話し合われ、本来は雇員には転勤はないのだが、特例として「名古屋地裁への転勤」が認められた。着任後間もなく試験を受けて、裁判所事務官に昇格している。

私は、このような大きな恩義に報いるため、また、相変わらず無収入では大学の月謝も払えず、先ず経済的基盤を造るためもあって、引き続き1年間は休学し、裁判所事務官としての勤務を継続することとした。これらの事情は、名古屋地裁の上司にご承知だった。配置は会計課。簿記を習っていない私には難し過ぎる仕事だった。高津高校には大学合格を報告したけれど、北野高校には報告していないような気がする。何と礼儀を弁えない、失礼なことをしたことか。

学習塾立上げから大学復学へ

伯父の計らいで学習塾経営の途が開けた。伯父の人脈で多くの生徒が集まった。部屋を借りたが自宅とは距離があり、片道約40分歩くしかない。また生徒の学年も高3から小1までバラバラ、ともかく無我夢中だった。大学の講義が終れば塾に直行し、帰宅は午後10時という過酷な日程となる。それでも裁判所を退職し大学に復学。教養部1年は豊川市所在の旧豊川師範の校舎を使う。寮はあるが塾があるので通学しか

ない。

私の住所から片道1時間30分、しかも、鮎詰めの満員電車。朝6時に家を出なければならぬ。でも、母は毎日5時に起きて、食べるものもろくにないのに、私の弁当を作って持たせてくれた。母は自分の分を残して、私の弁当に当てていてくれたのでは？深く感謝している。

2年目の校舎は旧8高跡（名古屋市内）。通学はかなり楽になった。塾も家の近くに移転。生徒は一人を除き一新した。今度は塾生の学力向上のため学年を限定し、予め選考をした。間もなく、「あの塾は成績が良くないと入れない」との評判が出て、入塾希望生は出来る子ばかり。私もとても教えやすくなり、私用に当てる時間は無くなったが、逆に塾生との交流が大きな楽しみとなった。

大学での懸命な法律勉強、柏木先生への思い出

大学も2年後期から司法試験科目の学びに入る。刑法（各論）。ゼミも刑法。いつも最前列に座って克明にメモを取った。私は、司法試験の刑法は、他に基本書を求めず、講義のメモをまとめたノートのみで済ませ、それで十分だった。柏木教授は後に司法試験委員になられている。刑法にも、重要点に関しては多くの高名な教授の著された図書があるが、私は柏木教授から口伝を受けたノートのみを頼りとした。この時から、夢は現実化への途となっていた。

初回の受験で司法試験合格

私は司法試験突破のため、卒業の年から5年計画を立てた。なお、年1回の試験、受験回数平均は当時6、7年と言われていた。在学中の受験は考えなかった。それを考えると、他の科目の学びがおろそかになる。できるだけよい成績で卒業したかった。でも、5年間の生活費をどうするか？在学中に就活らしきことは1回のみ。名古屋高裁主催裁判所書記官補採用試験の受験。これだと、裁判部勤務を希望すれば、合格した場合、仕事そのまま勉強である。5年以内に司法試験を突破できなければ、諦めて書記官・事務官として裁判所に勤務する。一生生活には困らない。その試験は、司法試験準備をしている私には、嘘のように簡単だった。合格して、また大阪地裁（民事部）に勤務することとなった。

着任して、かつてお世話になった人事課長（当時刑事部首席書記官）に挨拶に行った。「修習生として来てくれたのかと思った」という辛口の挨拶を返された。でも、これも予想外ながら、この年の秋、司法試験初回合格。書記官補を退職して翌年4月、司法研修所入所。2年後修習終了。間もなく裁判官任官。札幌地裁判事補となる。

北野高校定時制での勉強は私の背骨になった

途中、北野高校時代、名古屋大学合格後の1年間の休学と2年道草だった。いや、北野高校時代は決して「道草」ではない。私にとっては、その故に合格できた、まことに貴重な時間だった。

でも、気配に受けた北野高校の授業、同期の諸君にとっては卒業のため、私にとっては大学入試のため貴重な時間だった。念のため書いておくが、その頃の定時制は、本当に経済的に困窮し、昼間は働かねばならぬ者のための救済措置だった。何としてでも高卒の資格を取得したい。昼間の労働による疲労を押し切って、勉強したい一念で通学したものだ。

その後、様変わりしていると仄聞する^{そくぶん}。つまり、学力・意欲不足で全日制には付いて行けない生徒に、高卒の資格を与えるためのものと言う。私の頃は給食も弁当を食べる時間もなかった。勿論空腹である。空腹と眠気、疲労との戦いだった。その戦いに勝利して、始めて高卒の資格を取得でき、また、大学進学^{そくぶん}の途が開ける。でも、決して容易なことではない。定時制の生徒でありながら残業を強く求める雇用主が居る。残業を拒否すれば解雇。所詮使い捨て。私は、高津と北野の二つの高校でその苦しみを見聞いた。

しかし、高津の1年は楽しかった。多くの思い出がある。ある数学の先生は、確か京都大学大学院博士課程の学生と聞いたが、すごく難解な問題（図形の証明問題）を科し、しかも、最後までその問題の解説はなかった。「どうせ解けないだろう」と思われたのか？私はその問題1問だけに12時間掛けて解いた。その解答は提出したが、ご覧になった形跡はなかった。でも、私は自信をもって解き、それだけで満足している。

私の高校定時制への思い

この定時制が大阪では一部の高校で廃止されているとか。昼間の労働で疲れ果てても、学問を捨てることができない若者、このような若者に対し、地方自治体はどのような代替的措置で救済するのか、国はどのような指導をしているのか。前述したとおり、定時制は、怠学や非行など全日制から落ちこぼれた若者のためのものとなっており、これを公費で助成するまでの必要がないと当局が考えているとしたら、これらの落ちこぼれの救済となっているという現状を改善し、本来の、向学心を有しながら、一方で自己や家族の経済的負担のため、全日制に通えないまともな若者の救済を目的とするように方向を元に戻し、定時制を復活させるべきだと私は考える。

北野高校定時制卒業生でない私が北辰会会員

私は、このような事情で、北野高校定時制の卒業生ではない。しかし、その卒業生で構成されている北辰会の会員として扱われている。とても有り難いことである。ただ、私は84歳。余命は短い。何もできないかも知らない。もしお手伝いできることがあれば、微力ながらお役に立ちたいと願っている。

北辰会の皆様のご多幸、ご健勝を心からお祈りします。

以上

平成26年7月21日

*事務局 岩野さんから4月事務局へ大野先生消息のお尋ねが有り、交流が始まりました。今号の会員皆様からの便りで紹介しているように北辰会への思いの詰まったプレゼントが有りました。裁判官退官後は弁護士としてご活躍され、82歳を持って弁護士業務も引退されました。長くお元気でご活躍されることを祈っています。

命

13期 まえだ としあき
前田 利明

明日は意志のなかに

昨日

それは無の彼方に消えた
引きずらない



決別しなくてはならない

今日の時間のなかで

いのちと我が存在のワルツを踊ろう

意識と意志と血流が舞う

昨日

それは忘却の彼方に消えた

優しく包んで

抽斗(ひきだし)のなかにしまっている

今日も同じ空の下

あなたの人生私の生涯

記憶と出会いと再会と別れ

明日

それは意志のなかに待っている

期待と予感に

愛と信義と友情と配慮を紡ぐ

今日の時のながれをたのしむ

頑として泰然と存在する

動ぜず時代を睨む見据える

平成20年8月30日

生を謳歌(おうか)し、いのちと存在を謳歌しているわけではない。昭和の戦前、戦後、そして平成と21世紀を噛みしめているのである。いろいろな人の死をみつめてきた。そして、その死去の非情をも見た。

時代に踏み潰されて、押し潰されて、圧死してはならないと思う。

貧困、借金、アルコール、ニコチン中毒、肥満、糖尿病、癌、恐るべき薬害、食害、ギャンブルと名のつく賭博、競馬、競輪、競艇、パチンコ、そして、先物取引と名の付く大賭博と手の込んだ詐欺まがい商法、国家と民族の闘争、聖戦と叫ぶ宗教戦争。人は死に至るいのちのプロセスの中で、これらの陥穽(かんせい)に墜落していく。

これが時代であり、これが世界の実情である…。病んではいらない、病んでは負けである。

わたしは頑として、泰然と存在して、なにごとにも動ぜず、時代を睨み、見据えて生きる。

この美しい空の下で

～78歳になって愛しいあなたへの感慨～

あなたがあつての

わたし
 わたしがあつての
 あなた
 この美しい空の下で
 あなた
 わたし

二人だけの空の虹
 あなた
 あまりにも遠い日
 あなた
 この瑠璃色(るりいろ)の空の下
 あなた
 わたし

いのち麗しい
 あなた
 いのちを抱きしめて
 あなた
 固い絆を結んで
 あなた
 わたし

平成21年9月13日

この美しい、広い空の下で、あなたが存在して、息づいている。それだけで、

わたしは充足しています。実存は存在の証。あなたは、厳然としてあなた。あなたはあなたの世界のなかに在る。いのちの在る限り、わたしは、わたしです。この人生は、病んだら負け、死んだら終わりです。その向こうにあるのは、虚と無の深淵(しんえん)だけである。

生きている限りは、信を貫いて、信を託して、信を拠りどころとして、いのちと愛を託していかなくてもなりません。それなのに現在是不信の坩堝(うつぼ)の中に、投げ出されています。

事故、事件、犯罪、遭難、災難、土石流、竜巻、人災、そして、依存症。殺人、自殺。イラク、アフガニスタンでの自爆死。…、あなた、それはそれ。語るのは悲し過ぎます。

この美しい空の下で、あなた、わたしが在る。無事に在る。安否を確かめて在る。それだけで、わたしは感泣しています。

いのち麗しい、いのちを抱きしめて、硬い絆を結んで、あなた、わたし、…が在る。

単独山行記

～日本100名山、3000m以上全山登頂～

21期 ^{やまもと}山本 ^{こうじ}宏二

中学を卒業して以来、仕事、勉強、運動（特に山登り）と馬車馬の如く走ってきて、気が付けばこれと言った何の目的も何の夢も果たすことなく、早くも古希を迎える歳となっております。

唯、人並み以上にしたことと云えば、肝臓を壊すこともアル中になることもなく酒をよく飲んだことと、春夏春秋飽きることなく山登りをしたこと位でした。

高校時代級友たちが先生と一緒に北アルプス等に行っている事は知っていましたが、何しろ私が勤めていた某電機メーカーではまともに有給休暇も取らせてくれない会社でしたので、み



北海道トムラウヒ山にて

んなの山行きを指をくわえて眺めているより仕方ありませんでした。しかし時間を見つけては一人で近場を登っていました。

単独山行

その後も勉強、仕事につかれた場合、ストレスがたまった場合等には、リュックにテント、寝袋、食糧、酒を詰め込み時間の許す限り山行きを続けました。偶に妻を同行することはありましたが9割以上が単独行で且つ縦走が好みであった為、荷物は40キロ、50キロと重くなりましたが、一人静かにゆっくり歩くためツキノワグマ（月輪熊）に遭遇したことも度々で、面白い体験（後になって振り返れば）、危ない想いも色々しましたが、55年近く事無きを得て単独山行を楽しんできました。

しかし私の生業がサービス業の一種である個人営業であったため長期の休暇を取ることが出来ず、憧れの海外登山は全く実行に移すことが出来ず、日本の山々の登頂で満足するより仕方ありませんでした。

100名山、3000m全山登頂

それでも古希を前に登った山を数えてみると日本百名山のほとんどは行っており、せめて百名山登頂は区切りかと思い、以前、単独登山であるので遭遇しても逃げてくれないヒグマのために登頂を断念して帰ってきていた北海道の羅臼岳、トムラウシ山に昨年登り百名山登頂を達成しました。

またついでに日本の3000m以上の山で、ついつ

い通り過ぎて未登となっていた前穂高岳も登り、日本3000m以上全山登頂を終えました。

夢は海外でのトレッキング

もうこの歳では海外の山の登頂はあきらめざるを得ませんが、せめてキリマンジャロ登頂とヒマラヤ、アンデス、ヨーロッパアルプス等のトレッキングとスキー可能地点からのスキー滑走を夢見て、山登り、スキー、スポーツジム通いを続けている今日この頃ですが、問題はほとんど擦り減ってしまった膝の半月板と軟骨、それに心肺機能がもつかどうかですが、どうか皆様におかれましても病魔にも老いにも負けることなく精進されんことを願う次第です。

同期会・同好会だより

「北野13期歩こう会」例会予定表

世話人 **谷村 隆一**、**畝狭 恒雄**

月 日	103回	104回	105回	106回	107回	108回	109回	110回	111回	
雨天予備日	2月13日(金)	3月6日(金)	4月10日(金)	5月1日(金)	6月11日(木)	7月18日(土)	8月17日(木)	9月21日(木)	11月6日(金)	12月 日
行き先	"ひと筆路行" 早稲の丹波路	中山寺緑林	三田武蔵川 桜堤	高麗 麗のぼり アムルタ 北川 桜堤公園	天王寺公園 青い山	妙見山付近	長岡京市 藤電寺公園	和歌山 養老公園	二上神社口	
コース	大阪・鶴山口・谷川・高麗川・加古川・明石・三ツ宮・大阪	武蔵川桜堤 三田さくら 回廊散策	JR三田駅 改札口	JR高麗川駅 中央改札口前	天王寺公園 北口	妙見口(尾形) 高麗川(ケープ) サントリー 京橋工場	西山天王山・藤電寺公園 サントリー 京橋工場	和歌山 養老公園 二上山麓散策	1年の反省会 年度の計画発表会	
集合場所 (改札前)	JR大塚駅中央 改札口前	阪急宝塚駅 中央改札口前	JR三田駅 改札口	JR高麗川駅 中央改札口前	天王寺公園 北口	船場電鉄 妙見口駅 改札前	阪急京都線 西山天王山 駅東改札口	南海 和歌山市駅 二上神社口 改札口前		
集合時刻	午前10時	午前10時	午前10時	午前10時	午前10時	午前10時	午前10時	午前10時	午前10時	
歩行距離	約3キロ	約3キロ	約3キロ	約3キロ	約3キロ	約3キロ	約3.5キロ	約3キロ		
担 当	畝狭恒雄 072-633-4138	新本英二 079-563-6936	新本英二 079-563-6936	畝狭恒雄 072-633-4138	岡田和子 06-6623-5728	佐藤 隆一 072-634-6538	谷村隆一 072-633-9661	向井素子 072-492-3665	北野誠子 0742-44-9665	新本英二 079-563-6936
備 考							サントリー 京橋工場 見学			

13期生の皆様の参加をお待ちします。 お希望参加日は各担当までご連絡ください

2015年度例会予定 103～111回



中列右端 故岡部さん

2014年北辰17期同期会を終えて

「Once upon a time in Kitano High School」
(昔々の北野高校定時制)

17期 **堀田 継一**

昭和29年3月末頃、入試発表の日、まだ、校庭に畑の跡が残っている、校門は形だけ、どの場所からも校庭に入ることが出来、その校庭の向こう側に、3階建ての煉瓦色の校舎とその隣に講堂があり、その講堂の片隅で合格者のナンバーが張り出されていました。

自分の受験番号を見つけ小躍りしていたことを思い出します。それから4年後の昭和33年卒業生(17期生)として校門をあとにしてから、はや56年、定時制とはいえ、クラスの約3分2は1部又は2部ではあっても国公立大学に進学致しました。これは当時の学生達がどのくらい勉強に励み努力したことか、今は懐かしい思い出です。入学時は260余名の生徒も卒業時時は、120名余りになっていたと思います。

指導して戴いた先生方(当時の先生方の多くは大学院生で、私たちが卒業後、大学教授になられたと聞いて居ります)も厳しく、反面、愛情に満ちておられたと思っています。ただの高校の教師でなく、私たち人生の指導者でもあっ

たと。今、思い出すにも、感謝に堪えません。

同期会日程表

11月13日～14日

目的地	白浜（古賀乃井旅館）
集合場所	OCAT（JRナンバ駅）
集合時間	PM 1:30
出発時間	PM 2:00
到着時間	PM 5:00
食事（宴会）	6:00～8:30
解散（古賀乃井旅館前）	10:00（直帰宅と白浜観光組）

（幹事のみなさんご苦労はん、また、たのんまっせ！）



堀田さん（男子右から3人目）

今回の同期会では参加者は14名といつもよりは少数ではありましたが、会えばその瞬間から老人であることも忘れ、俺・お前と若かりし時代に帰り、思い出を語り合い、話は尽きませんでした。幹事諸君が気を使って宴会場で用意してくれたカラオケも全く必要なく、6時に始まった宴会もあっという間に8:30になり一応、解散、割り当てられた各部屋に戻っても、話尽きませんでした。明日を思い、就寝したのは11時を過ぎていました。苦しかった時代、しかし、希望にも満ちていた時代も、今は懐かしいく、私たちを元気にしてくれます。私たち17期生は今後も出来る限り、この楽しい同期会を続けるつもりです。

苦しい時代を乗り越えた私たち同胞達よ、幸あれ！

末筆で大変失礼ではありますが、お許しください。

北辰会会長古城様、事務局長前田様より丁寧な17期同期会へ挨拶状を頂き、その心遣い本当に感謝に堪えません。ありがとうございました。

また、会いましょう同胞諸君！スパシーバ（感謝）

*事務局 外来語は日本語の注釈を付けさせて頂きました。

元気印の集い 18期同期会 2014年

18期 ^{みき}三木 ^{じろう}次郎

年に一度の18期同期会が、3月2日の日曜日に「こがんこ十三東店」で開かれ、男性22人、女性4人が参加しました。26人のじいちゃん、ばあちゃんたち、みなさんしっかり食べて、飲んで、おしゃべりして、いつもながらの楽しい1日でした。

18期同期会は、毎年早春に、ゆかりの地・十三で開催している恒例の集い。「たまには十三から飛び出して」と会場を梅田に移した年もありましたが、どうも馴染めません。「やっぱり十三や」といつもの「こがんこ」に舞い戻っていました。

午後1時、愛称トモちゃんこと古城具祐さん（北辰会会長）の乾杯の音頭で開宴。しばし歓談の後、出席者一人一人が近況報告をしました。地域でボランティア活動をしている人、今も現役で仕事している人、旅行や趣味を楽しんでいる人、病と仲良しの人・・・話題は尽きません。

とにかく、今どきの年寄りみんな元気印。予定時間を大幅にオーバーして、校歌、記念撮影で締めくくりました。また、来年のお楽しみ。



2014年北辰会懇親会にて、三木さん（左側）

卒業50年さあ集え！ ～24期同期会～

24期幹事 ^{たなべ} 田辺 ^{まさる} 聖晴

北野24期だより	発行責任者 田邊聖晴	2015 3 吉日 第 行
15春	編集者 坂本成男	Vol. 2015

50年蘇える青春 春爛漫 浜坂に集う元若人

年があらたまり、厳しかった冬から桜咲く春がすぐそこに。皆さんはいかがお過ごしでしょうか。私たちが母校を巣立ち半世紀、それぞれの青春は百人百とおりの50年、思えば遠くへ来たものだなんて歌もありますが皆さん長い青春かと。さて浜坂ツアー、すでに参加の意思を頂き、結構遠路をいわず参加の方もおられます、ぜひ、いい旅はバスに乗って、和気あいあい、昔話や充実した青春まつだ中を謳歌しようではありませんか。皆さん、奮ってのご参加、お待ちしております。

24期会50周年記念浜坂ツアーの日程等が決定致しました。
下記により開催致します。

開催日時	2015年5月13(水)～14(木)日
宿泊場所	浜坂温泉保養荘 TEL 0796-82-3645 兵庫県美方郡新温泉町浜坂775
集合場所 及び時間	5月13日 AM 11時 JR三宮駅西口改札前(阪急三宮駅、東口出て右へ)
会 費	男性 18,000円 女性 16,000円
参加申し込みは、同封のハガキをお願いします。(尚締切は4月10日必着)	
問い合わせは下記へお願いします。	
田辺 聖晴 神戸市灘区摩耶海岸通 2-3-3-913 TEL 078-882-2421 090-6060-8619	

尚、不参加の方は、近況をぜひ、お知らせ下さい。

編集後記

近頃思う事、昨年後半から行われた沖縄の選挙は、普天間基地の辺野古移設に県民のノーと言うサインがはっきりと示されました。でも、そのあとの安倍政権の態度は知事の就任あいさつの門前払いに始まり、沖縄振興費の減額と、手のひらを返した様な仕打ちで、みっともないと言うか基地の中に沖縄があると云われる、沖縄県民の気持ちを考えると、情けなくて恥ずかしくて。ひるがえって、メディアもこの件についてあまり取り上げず、政権の強腰にこちらは及び腰ですか。で、今なんにもできない自分が情けないですが、この痛みをみずからの痛みと肝に銘じたいと。皆さんはどのようにお考えでしょうか、意見の違う方、気に障ったらごめんなさい。ツアーは思いっきり青春を謳歌しましょうか、楽しい二日間となりますように、何もかも忘れて笑顔弾けるいい仲間。勝手すぎるかな(坂本)

ています。

＝まだ参加されていない1年5組の友へ＝

卒業生はもちろん、就学途中に自己都合で卒業？した方も参加OKです。

クラスメイトが待っていますよ！楽しいひと時をすごしましょう(*^_^*)

是非ご連絡をお待ちしています。
happy.onohara@gmail.com (安達) にお知らせください。



天橋立にて

途上人KITANO 2014年春行事 新緑の六甲山登山 ～48年振りの六甲山～

いのらのぼる
26期 猪之良 登

5月21日。雨上がりのJR芦屋駅。恒例の金剛登山から今回は六甲にコースを変更して企画。私も北野高4年(1966年)以来、48年ぶりの六甲だ。参加は兼田、梅谷、小池、猪之良と桑名夫婦の計6名。植物学に造詣の深い山田先生は雨上がりのコースコンディションの危惧から今回は不参加。バスで東お多福山登山口まで行き「さーてぼちぼち行こうか」と出発です。

前日の雨でひんやりしていたが、登山には持って来いの気候だ。新緑の木々から陽がもれ、「けきょ。けきょ」のうぐいすの声援が心を和ませてくれます。1時間ほど登って東お多福山の頂上へ。事前に最初の1時間が上り。後は下りの「楽ちんコース」と兼田リーダーから聞いていたので、気が楽になった。

すごい見晴らしだ。ポートアイランドから神

天橋立、城崎へ ～27期1年5組クラス会～

クラス幹事 ^{うえむら} 上村 ^{ひろこ} 廣子、^{きむら} 木村 ^{かつひこ} 克彦、^{あしたに} 芦谷 ^{さとこ} 里子

日程：平成26年9月28日～29日

行先：天橋立、城崎、出石

宿泊地：城崎「ゆとうや旅館」

参加者：芦谷(寺谷)里子、安達清治、上村(池本)廣子、岡本(原崎)順郎、奥原庄吾、木村克彦、才村(正清)光世、杉原(北村)文代、高橋(田中)薫、中村勇、堀川(葛西)美鈴、森本(田口)純子。

毎年20名弱が入れ代わり立ち代わり一泊二日の旅行と日帰りハイキングで年2回旧交を温め



2列目右から3人目、猪之良さん

戸の街並みが一望できる。「お～。淡路島までくつきり見える」の一同歓声。視界が素晴らしく、街並みバックに記念撮影。そこからは下りで、エゴノキ、もちつつじ、ひめはぎ、いちやくそう、など観察しつつ横池へ辿り着いた。さあ、楽しい食事だ。桑名婦人の手料理の差し入れもあり、ビール、お酒で話に花が咲く。日差しに照らされた睡蓮が映えて、心をいやしてくれた。

食後、少しの起伏を経て風吹岩へ着く。メスの猪に出会う。刺激せぬようゆっくりそろりと下山。平日のせいか、対向者もちらほらだ。金鳥山から保久良神社を経て阪急岡本をめざす。やはり下りはヒザに負担がきてガクガクだ。山路を外れたところで岡本の街並へ出たが、水の枯れた川にイノシシの夫婦など間隔を置いて7匹が昼寝だ。牙をむいた雄は不気味だった。恒例の王将で反省会。生ビールの味が格別です。中華料理で腹ごしらえ。心地よい疲れを残して散会した。次回は9月17日(水) 紫のトリカブト群落などを見る金剛山植物観察です。

24日午後の乗鞍高原散策では落差21.5m、幅8mの善五郎の滝を眺め、清々しい森の中を歩き、幻想的な牛留池の美しさと静けさを感じ、マイナスイオンをたっぷりと浴びて来ました。

翌25日は、ご来光を見るべく4時15分に白雲荘を出発したが、ガスが晴れず見れなかった。そのまま肩ノ小屋を経由して北稜を登り7時10分に頂上に立った。この登りと頂上ではガスが濃く、風も強く、目指す360度の展望は得られなかった。7時20分下山開始。7時30分直下の頂上小屋で朝食。この頃には風が止み、陽が射し、ガスの合間に展望が開けた。8時45分畳平カールに着き、整備された木道を通してハクサンイチゲ、クロユリ等が咲く鶴ヶ池園地のお花畑を散策。9時15分白雲荘に戻った。帰路は「ひらゆの森」温泉で汗を流し、昼食の後、バス中でカラオケを楽しみ18時40分に無事梅田で解散となった。

第20回例会は2015年7月30日(木)～31日(金) 四国剣山(1955m)登山と東洋のマチュピチュ・東平ゾーン探訪です。



前列左端 兼田さん

途上人KITANO乗鞍登山 ～ご来光は見れず、お花畑に満喫～

26期 かねだ 兼田 よしはる 吉治

第19回夏山例会は、2014年7月24日(木)～25日(金)に北アルプス乗鞍高原散策と乗鞍岳登山を行いました。今年の参加者は10名で3回目の乗鞍岳でしたが、山はいつ行っても違った顔を見せてくれました。

北辰ファミリー ～山桜ハイキング、能勢の三草山へ～

27期 はがき 羽柿 みよこ 美代子

2014年4月4日 雨のため、日程変更したので山田先生他5人が都合がつかなくなり、4人で出発しました。能勢電の山下駅で下車、バスにて森上迄行き、その後は山頂をめざし、小雨の

中を1時間30分歩きました。雨も上がり、北摂の大パノラマを満喫して下山。雨で洗われた木々や草花を愛でながら、日生中央駅までゆったりと歩きました。特に途中の山桜がとてもきれいで



総会での羽柿さん(右端)、山田先生(左から2人目)

した。

2015年春行事

～「生駒山、十三峠 山桜ハイキング」多数の参加を～

*日 時：4月12日(日)

*集 合：9時30分 近鉄電車鶴橋ホーム

*連絡先：27期羽柿美代子

携帯 090-6902-7053

TEL・FAX 06-6332-8878

3年振りのテニス同好会、いざ集まろう!

世話役 29期 ^{はやしだ}林田 ^{ふじお}富士夫

テニス部29期の林田富士夫です。この春、OB会を企画中です。

3年振りに皆さま方と円卓を囲み若かりし頃の思い出や、近況報告など、歓談のひと時を過ごしたいと思います。

前回、お会い出来なかった方もこのお知らせを基に予定して頂き、ご参集下さるようお願いしています。

詳しくは5月早々に再度連絡いたします。

*とき : 平成27年5月16日(土) 12時～

*ところ : 十三「がんこ十三本店」

*会費 : 男性 5,000円 女性 4,000円

連絡先 林田 富士夫

077-564-7425

0903-2897-119

事務局からの報告

一. 人事(敬称略)

1. 退任

会計監査 23期 寺田 博(死去)

幹 事 7期 得本 嘉三

13期 岡部 節子(死去)

14期 池田 幸江(死去)

20期 北山 紀一

新任

会計監査 18期 佐藤 寅夫

幹 事 19期 梶原 清

20期 児玉 隆夫、磯田 久子

23期 山本 悦郎

母校 原田校長先生定年退職予定です

二. 会計報告(18ページの会計報告表を参照してください)

1. 総収入金額は601万円(懇親会費含む)、支出額256万円、繰越金(手持ち資金)345万円です。

賛助金運動、総会収支を含め予算通り進みました。

2. 賛助金運動は483名から240万円のご支援を頂きました。これは2012年賛助金運動とほぼ同額です。

3. 総会費用は208人の参加費用145万6千円、支出金は138万円、7万5千円の黒字です。

4. 大きな支出金は北辰会報発行費、63万4千円です。

5. 2015年の活動予算は120万円を予定しています。

6. これで2015年、2016年の北辰会活動資金が確保出来ています。

三. 北辰会総会、懇親会について

1. 元気の出た総会だったと思います。
2. 2009年の閉課程記念総会時と比べ力量低下を考え、参加費を7千円とし、従来の1万円から3千円下げ、参加者も200名を予定していました。208名の参加者申込みを頂きました。これは2009年の閉課程記念総会の245名と比較してほぼ予定通りでした。賛助金運動と合わせ2回延べ350人の皆様に「お願いのハガキ」を送らせて頂きました。
3. 収支も7万5千円の黒字、準備も順調に進み、講演も松尾副会長にお願い出来ました。
4. 余興も同期の方からグループまで参加があり盛り上がりました。
5. 今回、写真班の用意が出来、HPに掲載出来ました。
6. 次会の総会は今回より力量低下が考えられますので事務局としても知恵を出したいと思っています。
7. 次回総会は2018年を予定しています。

四. 賛助金運動について

1. 賛助金運動は483名から240万円のご支援を頂きました。これは2012年賛助金運動に比べ、低下は有りません。ほぼ目標達成できました。
2. これは会員皆様の熱い思いの結果です。事務局としてもお礼ハガキやプログラムの送付などさせて頂きました。
3. 次回の賛助金運動は2016年を予定しています

五. 「北辰会ホームページ（以下HPと記す）」について

1. 担当者に26期兼田事務局次長があたり精力的に活動しています。
2. HPへは毎月1000～1500人の方々が閲覧して頂いています。
3. 会員皆様からの投稿記事、写真など2014年は約30本掲載させて頂きました。

事務局からも北辰会活動報告を多数掲載させて頂きました。

4. HPは随時更新されています。同期会の開催案内や行事の活動紹介に活用して下さい。
開催案内は作成して頂いた資料をそのまま掲載できます。
活動紹介等は、1～2枚の写真と2～3行の内容説明を頂きましたら事務局にて作成して掲載します。
5. 皆様、インターネットに挑戦され北辰会HPを閲覧して下さい。そして多くの元気を頂いて下さい。
6. 北野高校北辰会、北辰会、北野高校で検索して下さい。HPに入れます。

六. 今後の展望と活動方針

1. 次回、北辰会総会、懇親会の開催は1年前倒し2018年とする。
2. 次回総会時に、仮称「希望の星、北辰会」or「永遠の真理、北辰会は永久に」で冊子発行を予定しています。原稿は会報に掲載された原稿、事務局手持ち原稿などを予定しています。
写真付、500人450ページ、「はるけき流れ」と同程度、1千円2018年の北辰会総会、懇親会で配布する。
3. 現在の北辰会手元資金は345.5万円あり、これは2016年までの活動資金調達が出来ている。
4. 同期会開催は15期以降の期が無理のない状況で開催する。
5. 19、23期がクラス会から同期会へ移行した。多くの同期生が集まれるよう頑張ってください。
6. 幹事の3人体制を強める。同期会の無い期でもその期に幹事さんがいれば北辰会全体に元気がでる。
7. 事務局が同期会を援助出来るようにする。
8. 北辰会HPの活用を強める。事務局にインターネット発信、HP作成に携わる人を増やす。
9. 同期会は北辰会総会、懇親会の年とかぶらないように設定して下さい。
10. 31期以降の期で合同の仮称「ヤング北辰

倶楽部」で忘年会等は出来ないものか？

11、 同期会、同好会活動も規模、活動量が減少するでしょうが実状に合った活動をして下さい。北辰会総会、懇親会とセットで考えて下さい。

12、 途上人の金剛山登山、六甲山ハイキング、北辰ファミリーの九州友だち訪問、29期松田さんの少人数、北海道友達旅行など参考になります。

七. 同期会、同好会の活動状況

実質、13期から30期までしか活動が把握出来ません。活動状況は前項を見て下さい。

訃報（敬称略）

教 師	教頭	人位	昇
会計監査	23期	寺田	博
幹 事	13期	岡部	節子
	14期	池田	幸江

1期 酒井初代会長、2期 藤井辨三元幹事、 6期 山下重雄前幹事のご遺族の皆様へ賛助金のお礼と感謝 ～藤井、山下両先輩の思い出～

事務局 ^{まえだ} 前田 ^{なおと} 直人

今回、表記の3名の北辰会にとって大切な先輩方のご遺族、渡辺佐知子さま、藤井良子さま、山下喜久枝さまから多額の賛助金を頂きました。厚く御礼申し上げます。

3名の先輩方は北辰会と私自身を大事にして下さりました。大変助かり心強く思いました。

酒井初代会長の追悼文は昨年20号に同期生又川真久さまから頂きましたので私からの思い出話は割愛させて頂きます。今回、お嬢様から酒井先輩の遺品を預かっています。

藤井先輩は警察学校の校長を務められました。しかし、一般的に思われている警察官のイメージは全く有りませでした。何時も柔和な笑顔が印象的です。心臓病を患いながらも北辰会2期生会を率い、また、北辰会幹事としてお亡くなりになられるまでご支援を頂きました。会報11号では勲5等瑞宝章受章の紹介をさせて頂きま

した。その後、奥様には賛助金運動のたび、ご支援を頂いています。ありがとうございます。

山下先輩には北辰会行事、北辰クラブ、北辰人、などで度々お会いし、励まし、助言を頂きました。

先輩は大教組役員など努められ、会報11号では75歳で大阪府立大学大学院入学、3年間で卒業された記事を頂きました。無線免許、船舶免許、陶芸、自治会、老人会役員など多趣多芸多才な先輩で素敵な愛妻家でありました。私の心残りは最後のお見舞いに行けずお礼が言えなかったことです。この場をお借りしてお伝え致します。ありがとうございました。

*事務局 10期（故）織田忠明さまの奥様からも賛助金頂きました。前項の「賛助金運動での皆様からのコメント」で紹介させて頂きました。今まで賛助金を頂いていたのでお名前は存じています。しかし、お目にかかった事がないので誠に申し訳ないことですがコメントが書けませんでした。皆様のご多幸お祈り申し上げます。

編 集 後 記

お陰様で 昨年の北辰会総会は皆様の熱い情熱とご支援に支えられ楽しく、元気の出る総会になりました。

重ねて御礼申し上げます。

北辰会報、北辰会HPが皆様を結ぶ絆、架け橋にならんと常日頃精進しています。もっと皆様の身近な存在になれるよう

お力添えをお願いします。

先輩諸氏の体力は落ちていますが、まだまだ元気で過ごせるよう北辰会は皆様のオアシスであり続け、歌い出せば青春時代がよみがえる校歌や北辰魂に恥じないよう頑張ります。

事務局一同

北 辰 会 会 長 古 城 具 祐
北辰会事務局長 前 田 直 人

北辰会総会・賛助金運動のお礼

皆様におかれましてご健勝の事と存じます。

皆様には北辰会総会、賛助金運動のご支援、北辰HP立上げと運営、会報発行、同期会や同好会などの開催、同好会名簿の整理など数々の北辰会活動にご支援を頂いています。厚くお礼申し上げます。

お陰さまで2014年総会参加者は210名を越え、賛助金運動において目標260万円は達成出来ませんでしたが236万円、書籍販売を含めると240万円になり、目標の92%になります。また、これらに支援して頂いた方は502名です。お願いした方の2078名、4分の1になります。任意団体の同窓会に於いては非常に高い率だと思います。直接北辰会運営に携わっている私たちに於いても自信と誇りを持って良いことと思います。有難うございました。

これで当面2年間の北辰会運営の資金的目処が付きました。嬉しく思っています。

北辰会は会員の青春の場所、元気の源としてまだまだ存在感があります。

今後も今までどおり、楽しく元気の出る北辰会にするため、力を注いで参ります。

皆様も健康で、それぞれの立場で楽しく、元気良く北辰会活動に携わっていただきますようお願いいたします。

お忙しいことでしょうがお身体に気をつけ、2015年が皆様にとってより良い年でありますようお願い申し上げます。

皆様と元気なお姿でお会い出来ることを楽しみにしています。ありがとうございました。

2014賛助運動期別集計表

期	振込あり	総会参加	賛助者	賛助金	書籍販売	書籍販売費
0集計	8	3	8	60,000	0	0
1集計	1	0	1	30,000	0	0
2集計	1	0	1	10,000	0	0
3集計	3	0	3	13,000	0	0
4集計	4	0	4	22,000	0	0
5集計	1	0	1	3,000	0	0
6集計	4	1	4	43,000	1	1,000
7集計	3	0	3	14,000	0	0
8集計	2	0	2	8,000	0	0
9集計	5	0	4	29,000	1	13,000
10集計	3	0	3	21,000	0	0
11集計	9	1	9	74,000	1	2,000
12集計	19	4	19	84,000	1	3,000
13集計	16	3	16	66,000	1	4,500
14集計	28	11	27	114,000	0	0
15集計	23	13	23	80,000	1	2,000
16集計	19	4	18	97,000	0	0
17集計	18	4	18	80,000	0	0
18集計	36	19	32	220,000	1	1,000
19集計	14	5	14	63,000	0	0
20集計	20	11	19	77,000	0	0
21集計	18	10	18	97,000	1	1,000
22集計	16	12	14	49,000	1	1,000

期	振込あり	総会参加	賛助者	賛助金	書籍販売	書籍販売費
23集計	16	10	15	65,000	1	1,000
24集計	24	8	23	129,000	2	5,000
25集計	41	14	41	164,000	1	5,000
26集計	44	26	40	174,000	3	6,500
27集計	29	12	27	113,000	1	1,000
28集計	9	4	9	36,000	0	0
29集計	28	15	26	135,000	0	0
30集計	15	8	15	59,000	0	0
31集計	1	0	1	3,000	1	1,000
32集計	4	1	4	21,000	0	0
33集計	5	3	4	14,000	0	0
34集計	4	0	4	18,000	0	0
35集計	1	0	1	3,000	0	0
36集計	1	1	1	3,000	0	0
37集計	3	0	3	18,000	0	0
39集計	1	0	1	3,000	0	0
43集計	3	1	3	9,000	0	0
50集計	1	1	1	5,000	0	0
51集計	1	1	1	23,000	0	0
53集計	1	1	1	3,000	0	0
62集計	1	1	0	0	0	0
66集計	2	0	2	13,000	0	0
	506	208	484	2,365,000	18	48,000

賛助者のご芳名（敬称略）

期	氏名	旧姓
0	吉安 克彦	
0	山田 信也	
0	川口 一夫	
0	水原 渭江	
0	桑原 由美	（前川）
0	足立 堯	
0	山本 彰良	
0	原田 恵子	
1	酒井 芳政	渡辺佐知子
2	藤井 辨三	藤井良子
3	岡部 義圭	
3	池知 央	岡本
3	河地 淑	
4	田村 政春	
4	国米 亨	
4	杉山 敏雄	
4	池本 晃	
5	大石 路夫	
6	山下 重雄	山下喜久枝
6	須田幸二郎	
6	池原 平和	
6	安藤 謙	山中哲夫
7	新田 久光	
7	河野 正	
7	小坂 義治	
8	井上 馨	
8	矢田 文蔵	
9	岩野 寿雄	
9	盛野 胤弘	
9	鍋木榮一郎	
9	中島 豊児	
9	三木田 徹	
10	織田 忠明	
10	中西 祐和	
10	北野 洋三	
11	牧野 雄次	
11	濱田 光三	山田
11	松本 新一	
11	金行 陽三	
11	竹中 和郎	
11	安東 功雄	
11	檜林 基成	
11	達富 脩	
11	田宮 明	
12	杉本 忠男	
12	紫竹 史郎	
12	大西 俊彰	
12	森田 宣子	平岡
12	新保 誠敏	
12	石丸 陽一	

期	氏名	旧姓
12	津田 条次	
12	竹内 明子	亀沢
12	幡 信昭	
12	丸山 利信	
12	吉村 泰男	
12	亀山 敏子	三原
12	西田 千恵	
12	市井 健三	
12	前 喜代志	
12	佐々木幸政	
12	松永 安哉	
12	波多野和夫	
12	阪上 豹吉	
13	田阪 洋子	渡口
13	谷口 源一	
13	谷村 隆一	
13	坂野 誠子	北浦
13	坂野 光俊	
13	畝狭 恒雄	
13	藤原 良一	
13	前田 利明	
13	橋本 榮子	森井
13	松本 悟	
13	山本 晴彦	
13	汐月 二郎	
13	岡田 和子	木村
13	佐藤 勉	
13	新本 英二	
13	佐藤 知子	倉田
14	池谷 弘	
14	近藤 敏雄	
14	川野眞次郎	
14	桑田 龍雄	
14	五熊 久子	浜名
14	神波 正明	
14	川原千恵子	田中
14	赤島 泰一	
14	岡本 文子	志水
14	渡辺佳代子	谷口
14	田辺 章子	富島
14	坂井 稔	
14	篠木 精治	
14	池田 幸江	
14	大谷 伸司	
14	芹川 佳子	池田
14	松尾 善孝	
14	島川 正巳	
14	本庄 孝行	
14	小林 妙子	滝川
14	美馬 綾子	安藤

期	氏名	旧姓
14	金森郁三(春子)	
14	金森 春子	安味
14	板野 貞雄	
14	氏原 幸子	島田
14	永井 正昭	
14	田中のぶ子	前
14	増野 喬	
15	小西正太郎	
15	服部 哲夫	
15	田中 寛	
15	清水 昭	
15	村上 宏規	
15	奥村 正良	
15	三坪 玲子	中島
15	木村 光昭	
15	池田 定夫	
15	玉城 俊夫	
15	中澤 佐代	
15	長滝 才子	三次
15	水野 弘子	
15	川竹 博子	
15	高山 吉張	
15	津村 晃	
15	岡崎美恵子	中西
15	瀧川 京子	菊名
15	三上 則子	越村
15	戸崎 健一	
15	中島阿弥子	野間
15	小林 民子	東
15	伊豆野行美	
16	松井 永介	
16	小畑 正	
16	元山 栄	辻田
16	稲見 精久	
16	馬場 昭雄	
16	菊地 博司	
16	内木 雅夫	
16	佐々木堅三	
16	岡田 保造	
16	花岡 正一	長尾
16	四方 寛規	
16	住友 幸子	
16	曾我 乙彦	
16	伊勢田善弘	
16	藤田 清子	竹田
16	藤田 慎一	
16	大村 秀雄	
16	柴田 博三	
16	某2	
17	足立 達男	

期	氏名	旧姓
17	岩田 一栄	川手
17	中野 勝也	
17	水口 健三	
17	田中 希夫	
17	久保 在久	
17	阪村 美治	大島
17	吉村 幸雄	
17	東 雅雄	
17	東 和子	福井
17	浅見 郁蔵	
17	大谷 広亀	
17	佐竹 節寛	
17	田中 克房	
17	福井 栄	
17	仲義 宏	
17	稲継 秀夫	
17	馬場 弘士	
18	足立 公夫	
18	山口 克巳	
18	西田三千子	戸田
18	林 治人	
18	中島美美子	
18	岩崎 洋治	
18	野村千恵子	
18	中村 明人	
18	総田 健蔵	
18	出口 久三	
18	佐藤 寅夫	
18	吉形 安生	
18	北村 暢夫	
18	西野 有	
18	植田 佳文	
18	森本 益之	
18	古城 具祐	
18	三木 次郎	
18	長田 偉子	磯貝
18	足立 武司	
18	森本 均	
18	岡田 多聞	
18	井上紀代子	田島
18	杉並 孝二	
18	杉並 正恵	江沢
18	横田 隆司	
18	吉村 務	
18	清水 庄司	
18	木原 滋	
18	篠木 武子	
18	奥里 将春	
18	矢谷 弘子	
18	木村 哲郎	

期	氏名	旧姓
18	森井久美子	
18	米良 雅子	青木
18	伊藤 俱子	樫野
19	新 継美	
19	内田 三郎	中西
19	杉山 嘉夫	上山
19	山本 美德	
19	酒井熹世子	岸上
19	梶原 清	
19	佐藤 万幸	播岡
19	黄山 平一	黄
19	鍵山伊三雄	
19	平子 浩一	
19	鳥生 静夫	
19	松井 孝次	
19	森田美和子	平田
19	稲垣 倭代	
20	宇野 京子	
20	児玉 隆夫	
20	山下 貞一	
20	金倉 郁雄	
20	森川 勝治	難波
20	中本 忠彦	
20	松原 芳三	
20	伊藤 淳子	田島
20	井口 忠勇	
20	上辻 舜子	宮島
20	磯田 久子	岩本
20	北山 紀一	
20	堀川 昭子	和田
20	真鍋 笑子	寺本
20	勝部 進	
20	上田 豊	
20	小川 利夫	
20	藪 紀美子	藤井
20	森 勝子	小林
20	角石 国道	
21	萬戸 唯利	
21	池川 修治	
21	市井 吉栄	
21	田井美佐子	杉山
21	中村 公俊	
21	堀越 尚	
21	山本 宏二	
21	前田 信子	小林
21	山本 英郎	
21	赤松 隆	
21	山上 恵三	
21	寺西 久栄	林
21	松本 昭代	牧戸
21	荒木不二夫	
21	名子 妙幸	名子幸枝
21	萬 典彦	
21	谷口 喬司	
21	寺内 孝	
22	大槻 征功	
22	菊本 隆	
22	菊本 祥子	栢
22	大野木勝昭	
22	中村 文子	
22	和 文博	大場
22	前田 進	
22	江頭三枝子	山本
22	房本 光代	牛島
22	山本優美子	高島
22	江口 矩子	仲本
22	中野 久夫	
22	染矢金一郎	
22	上野 郁夫	
22	樋口 忠詔	
22	石黒 尚美	
23	鶴田 郁夫	
23	伊藤 実基	
23	石田 孝一	
23	石田 奥様	
23	浜 祐美子	岡本
23	田中 悦子	村瀬

期	氏名	旧姓
23	山本 悦郎	
23	堂本 敦子	柿本
23	金城 奉周	
23	中家 詩郎	
23	貴船美佐子	川崎
23	畑地 豊	
23	綿谷 修	
23	西阪 一裕	
23	吉田 雅江	又川
23	中長 俊一	
24	前田 泰子	熊白
24	新谷 照光	
24	徳永 義彦	
24	松本ケイ子	貝戸
24	遠藤 圭子	三宅
24	吉澤 靖昌	
24	田辺 聖晴	勝
24	中西 三男	
24	坂本 成男	
24	又川 邦義	
24	谷本 一郎	
24	亀谷 典康	
24	斎藤 治美	水野
24	山西 清芳	
24	松尾 晋	
24	今本 潔	
24	八田 恵子	笹野
24	岩崎 靖子	石田
24	山下 文誉	
24	福山 治美	
24	溝口 卓夫	
24	石田 秀毅	
24	三木 嘉子	
24	播岡美美子	赤川
25	野田 豊子	米田
25	西村喜美江	玉置
25	吉岡 伸二	
25	前田 直人	
25	白石 政利	
25	渡部 克彦	
25	中村 謙一	
25	原田 善造	
25	横谷 良勝	
25	河崎 正清	
25	片田 明	
25	有本七智子	安田
25	宇治 靖之	
25	富川久美子	小林
25	西谷 和美	
25	内田 裕康	
25	内田 豊子	西川
25	松下ふみ代	
25	森 泰造	
25	前田 正雄	
25	藤本 恒子	青木
25	岡崎 和子	橘
25	福原 直治	
25	矢島 優子	山本
25	浅田 憲男	
25	堀江 紀子	池田
25	吉村 太	
25	山城 親秀	
25	斎藤 陽子	柴田
25	上地利恵子	与那嶺
25	加藤 静子	松岡
25	中村ひろみ	前島
25	増田 民子	大高
25	清水 初美	飯田
25	成田 憲治	
25	前田 和子	谷垣内
25	高崎 正美	
25	板脇百合男	
25	広田 邦男	
25	八木 章子	永井
25	高田 保	
26	梅谷 武	
26	西田 成子	沖津

期	氏名	旧姓
26	根岸 良吉	
26	小河原京子	坂本
26	仁張 啓子	竹内
26	上村加代子	
26	兼田 吉治	
26	岡田美乃利	
26	松本 和子	吉本
26	半田フサ子	大泉
26	半田 自朗	
26	古本 永男	
26	松本 重徳	
26	直嶋 正行	
26	高畑 涼子	大塚
26	吉永 満輝	
26	桑名 耕治	
26	宇羅 恒雄	
26	呉山 翠	坂本
26	青木 孝子	山内
26	井口 勝治	
26	井口 伴子	平井
26	栗本 俊彦	
26	猪之良 登	
26	石田 盛夫	
26	藤原 政枝	東山
26	上村 はるら	上田
26	田中 三男	
26	風呂 信一	
26	小谷 健蔵	
26	有働 晴夫	
26	勢井 正一	
26	高畑 勝治	
26	中村恵美子	明石
26	森岡 茂子	津田
26	佐々木恵美子	又川
26	馬場 健一	
26	太田 茂	
26	三代 信子	
26	松永 智子	国方
26	大内 清	
26	堤 和人	
26	三木千代子	中
26	某1	
27	福山 進	
27	上村 廣子	池本
27	寺下 紀男	
27	堀 健二郎	
27	安達 清治	
27	中村 勇	
27	城内 豊和	
27	田中 久子	
27	清水 義一	
27	岩井美智代	新川
27	中尾美知子	東
27	才村 光世	正清
27	羽柿美代子	馬場
27	植田 盛保	
27	杉原 文代	北村
27	石田 富夫	
27	中川 徹	
27	高地 国雄	
27	清水 久子	鈴木
27	山崎ちずよ	古本
27	小竹 絹代	井上
27	川端 康巴	
27	渡部 孝彦	
27	後藤 和代	足立
27	横山 末	小川
27	田中 利明	
27	三木 洋治	前島
27	安田富美子	木下
27	岡本 和幸	
28	宮崎 光子	波多野
28	李 利江	松岡
28	中村 良人	
28	竹本 久子	五十嵐
28	香川 和夫	
28	藤本 和子	笹川

期	氏名	旧姓
28	牧野 和義	
28	井上 啓子	加藤
28	神野 一信	
29	福田 幸次	
29	村上 博章	
29	岡野 泰子	林
29	植村 勝男	
29	竹本 治男	酒井
29	中村 壽一	
29	山田 道雄	
29	松田 秀樹	
29	松田 静代	浜屋
29	平沼 富子	竹中
29	石賀 栄子	盛岡
29	天岡 久男	
29	堀本 慶子	森川
29	天野 彰	
29	山下 恵子	川崎
29	山片美和子	岸田
29	大塚 良博	
29	村田 安子	
29	石原 史子	道木
29	林田富士夫	
29	佐藤知和子	真乗坊
29	並河えつ子	三池
29	並河賢一郎	
29	片山 節子	
29	森山 博	
29	松比良通義	
29	岩下由美子	
29	江端 和子	青谷
30	田代 峰子	梶原
30	伊東 信之	
30	木村 育司	
30	早川富美子	沢村
30	堀田 征和	
30	谷垣 雅春	
30	藤田 陽子	池田
30	藤田 潤	
30	赤松 芳夫	
30	赤松小百合	喜井
30	塗家 栄子	
30	山口 富子	堀北
30	吉原 敏男	
30	村山タツエ	松原
30	板橋 敬三	
31	松井美栄子	門脇
32	藤村 由喜	西川
32	松川留利子	津島
32	棚窪 時雄	
32	村 秀恵	
33	久保 真澄	
33	紀川真知子	唐田
33	松村 喜美	
33	西田 由子	宮崎
33	中田 由美	宮島
34	大畑美智子	山西
34	小嶋 薫	大和田
34	兼平 清志	
34	上村 典子	松永
35	高橋 久子	坂本
36	森本 俊彦	
37	勝井 道子	
37	西村 稔	
37	小村 秋代	
39	西村 秀子	池田
43	加来ミツエ	高橋幹雄
43	木梨 高行	
43	竹之内キクエ	
50	窪田 行徳	
51	河内 昭治	
53	南 智	
62	千賀 茂世	
66	木村 一男	
66	山本三千代	